

ポイント 会社の資本に対してどれだけの利益をあげているかを示す指標です。

A1 **総資本利益率**とは会社の総資本でもってどれだけの利益をあげたのかを図るものです。これには**総資本経常利益率**（ROA）と**自己資本利益率**（ROE）がよく使われます。

会社は自己資本である株主の資本と他人資本である借入金を使って事業活動を行い、利益をあげます。この利益がその両者の資本に対してどれだけの割合を占めるかが**総資本利益率**です。有効に資本が使われて通常は会社の資本を預金に預けて得る利子よりは大きなものを目指します。

この**総資本利益率**を分解すると**総資本回転率**と**売上高利益率**となります。総資本回転率や売上高利益率が上がれば**総資本利益率**も上がります。

この**総資本回転率**は資本がどのように効率よく利用されているかをみます。この**総資本**に対して売上高が何回転したかを**総資本回転率**といいます。その**総資本回転率**は年間1.5回転から2回転が望まれます。

また、**売上高利益率**は利益の割合を示すものです。

この量（**総資本回転率**）と**利幅**（**売上高利益率**）のバランスの良い上昇が企業の総合力のアップにつながります。

